

## 【2025.12.09 発信 VOL.101】

---

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.101 は、以下の内容でお届けします。

- 師走を迎えて
  - 「強い経済」を実現する総合経済対策
  - 令和7年度補正予算（案）
  - 財政制度等審議会 財政制度分科会
  - インターネット情報番組「ABEMA Prime」への出演
  - 農業農村整備の集い
  - 「ノウフク・アワード 2025」受賞団体の決定
  - 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第12回選定結果の公表
  - 鳥インフルエンザが発生
  - 各種講演を精力的に実施
  - 活動状況(2025.10.21-10.31)
  - 活動状況(2025.11.1-11.30)
- 

### ■ 師走を迎えて

参議院議員の進藤金日子です。

先月18日に大分市佐賀関で発生した大規模火災では、尊い命が失われ、多くの方々が被害に遭われました。また、昨夜の東北地方沖を震源とするマグニチュード7.5の地震では、青森県八戸市で震度6強を観測し、多くの住民の皆様へ避難指示が発令されました。

このたびの災害によりお亡くなりになられた方に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と平穏な生活の回復を心よりお祈り申し上げます。

12月に入り令和7年も残すところわずかとなりました。北海道・東北・北陸地方では一部大雪となり、本格的な冬の訪れを感じる季節となっております。

さて12月は、令和8年度予算編成や税制改正に向けた議論が本格化する重要な時期です。農林水産業および農山漁村の振興に向け、農業農村整備、治山・森林整備、水産基盤整備をはじめ、必要な予算・制度の確保と拡充に全力で取り組んでまいります。

今臨時国会では、政府より法案提出とともに令和7年度補正予算案が提出される予定です。厳しい財政状況の中ではありますが、令和7年度補正予算案の早期成立に努めるとともに、年末の予算編成においては、現場が必要な令和8年度当初予算の確保に向けて不退転の覚悟で臨んでまいります。

今後も引き続き、現場の声を確実に政策へとつなげていく役割を果たしてまいりますので、皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### ■ 「強い経済」を実現する総合経済対策

政府は11月21日、「強い経済」を実現する総合経済対策-日本と日本人の底力で不安を希

望に変える-を閣議決定しました。今回の経済対策は、1)生活の安全保障・物価高への対応、2)危機管理投資と成長投資による強い経済の実現、そして3)防衛力と外交力の強化という三つの柱から構成されております。

農林水産関係では、食料安全保障の確立を最重要課題とし、改正食料・農業・農村基本法に基づいて、農業・畜産業の生産基盤の強化等を着実に実施するため、5年間（令和7-11年度）の農業構造転換集中対策期間において、機動的・弾力的な対応により別枠予算を確保し、農地の大区画化等の整備、中山間地域のきめ細かな対応、老朽化した共同利用施設等の再編集約・合理化、スマート農業技術の開発、新品種の開発・導入、大規模輸出産地の形成等の施策を充実していくこととしています。

また、力強い林業の実現のため、生産体制の強化、スマート林業の推進、国産材転換・木材利用拡大、担い手の育成・確保に関する取組等を支援し、加えて花粉症対策も着実に実行することとしています。

さらに、水産業の強靱化を図るため、海洋環境に対応した資源調査・評価を推進するとともに、新たな操業体制の構築、スマート水産業の推進、養殖業の成長産業化、担い手の確保・育成等を支援し、燃料油高騰対策も盛り込まれています。

防災・減災・国土強靱化の推進については、国土強靱化基本法に基づく「第1次国土強靱化実施中期計画」を着実に推進することとしています。

※詳細は、内閣府ホームページから参照願います。

<https://www5.cao.go.jp/keizai1/keizaitaisaku/keizaitaisaku.html>

## ■ 令和7年度補正予算（案）

11月28日、令和7年度補正予算（案）が閣議決定されました。今回の補正予算は、11月21日に閣議決定された「強い経済を実現する総合経済対策」を着実に実行するためのもので、総額約18.3兆円（うち経済対策関係費17.7兆円）が計上されています。

農林水産関係の補正予算(案)としては、1)物価高騰の影響緩和対策、2)食料安全保障の強化のための重点対策、3)総合的なTPP等関連政策大綱に基づく施策の実施、4)防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進、5)持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進への対応として、総額9,602億円が計上されています。

このうち農林水産関係公共事業費は、農業農村整備事業2,165億円（非公共予算の274億円を含め2,439億円、昨年度補正比+402億円）、治山・森林整備事業863億円（同+47億円）、水産基盤整備事業339億円（同+19億円）が計上されております。

これらの予算を確実に確保し、現場の課題解決につなげるべく、私も補正予算の早期成立に全力で取り組んでまいります。

※詳細な情報等は農林水産省等ホームページから参照願います。

（農林水産予算全体）<https://www.maff.go.jp/j/budget/r7hosei.html>

（農業農村整備等）<https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html>

（治山・森林整備）<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R7hosei.html>

（水産基盤整備）<https://www.jfa.maff.go.jp/j/budget/index.html>

（国土強靱化関係）[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo\\_kyoujinka/yosan.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/yosan.html)

## ■ 財政制度等審議会 財政制度分科会

11月7日、財務省において財政制度等審議会・財政制度分科会が開催され、外交・デジタル、国内投資・中小企業、社会資本整備、そして農林水産関係について議論が行われました。

農林水産分野では、委員より次のような意見が示されました。

- ・農業人口の減少が進む中、生産性向上が不可欠であり、地域計画の見直しや担い手への農地集約化を進め、本格的な構造転換を進めていくべき
- ・足元では米価が高騰しているものの、中長期的には大規模化やスマート農業技術の活用を通じ、生産コストの着実な引き下げを進める必要
- ・米の流通構造について、透明性の確保を含めた対応を検討すべきではないか

こうしたご指摘を踏まえ、農業の構造転換を速やかに進め、生産者と消費者の相互理解を進めつつ、食料が安定的に生産できる体制の構築に向けて、引き続き皆様方からのご意見等を踏まえ、必要な施策の検討、実現に取り組んでまいります。

※詳細な情報等は財務省ホームページから参照願います。

[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/councils/fiscal\\_system\\_council/sub-of\\_fiscal\\_system/proceedings/index.html](https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/index.html)

#### ■ インターネット情報番組「ABEMA Prime」への出演

11月26日、インターネット情報番組「ABEMA Prime」に出演し、総合経済対策におけるおこめ券の配布、今後の農政のあり方などについて発言しました。

お米券配布、減反政策、米の需要拡大、需要に応じた生産、米農家への直接支払い、水田農業の方向性、米価形成のあり方等について私なりの見解を述べてますので、是非とも皆様からのご意見等をお願い致します。

※放送されたYouTubeは、以下のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=DaY3vLCHsCM>

#### ■ 農業農村整備の集い

11月26日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サボーにおいて開催され、全国から農業農村整備に携わる皆様が参集しました。

開会にあたり、全国水土里ネット二階俊博会長からは、「農業の構造転換を集中的に進めていくことが重要である。既存の土地改良予算に加え、農地の大区画化や水利施設整備、中山間地域対策を進めるための別枠予算を確実に確保しなければならない。土地改良団体としても引き続き力を尽くし、闘う土地改良のもと、皆さんのお力添えを得ながら、一丸となって予算獲得の闘いを続けていく」との力強い呼び掛けがありました。

続いて、鈴木農林水産大臣、森山食料安全保障強化本部長、宮下総合農林政策調査会長より、激励のご挨拶をいただきました。

私からは、「農業構造転換のためには土地改良が何よりも重要。農業構造転換集中対策期間の5年間において、別枠予算を確保し、大区画化等の各種事業を強力に推し進めることが不可欠である。土地改良事業の効果を国民の皆様に丁寧にお伝えし、ご理解を得ながら、予算確保に全力で取り組んでいこう」と訴えました。その後、要請文の提案・採択が行われ、ガンバロー三唱をもって閉会しました。

閉会後には、片山財務大臣と鈴木農林水産大臣に直接面会して、予算の確保、各種施策の

充実等に係る要請を行いました。

## ■ ノウフク・アワード 2025 受賞団体の決定

農林水産省は 11 月 25 日、農業・林業・水産業と福祉の連携による優れた取組を表彰する「ノウフク・アワード 2025」の受賞団体（22 団体）を発表しました。農福連携は、障害のある方が農林水産業で活躍し、社会参画と働く喜びを得るだけでなく、担い手不足が課題となる現場を支える取り組みです。今回の表彰は、農福連携が地域に根づき、全国へ確実に広がりとつづつあることを示すものです。誰もが役割を持ち活躍できる農業・農村の実現に向け、成功事例の横展開や現場支援を引き続き推進してまいります。

なお、受賞団体は以下のとおりです。

<グランプリ>

株式会社ココトモファーム（愛知県犬山市）

<準グランプリ>

人を耕す部門：社会福祉法人新友会 ひまわり畑（大分県大分市）

地域を耕す部門：佐賀県

未来を耕す部門：ぽかぽかワークス（愛知県名古屋市）

このほか、地域特性や創意工夫を活かした多彩な取組に、優秀賞 7 団体、フレッシュ賞 5 団体、チャレンジ賞 5 団体が選定されています。

※詳細な情報等は農林水産省ホームページから参照願います。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/251125.html>

## ■ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第 12 回選定結果の公表

農林水産省及び内閣官房は 11 月 18 日、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第 12 回選定結果を公表しました。本取組は、農山漁村における地域資源や人材を活かした取組を全国から選り紹介するもので、地域経済の活性化や所得向上、交流人口の拡大につながる優良事例を表彰し、その成果を全国へ波及させることを目的としています。今回の選定では、全国より 30 地区が「むらの宝」に認定され、その中でも特に優れた以下の取組がグランプリ・優秀賞として評価されました。

<グランプリ>

一般社団法人 Local Revolution（北海道函館市）

<優秀賞>

ビジネス・イノベーション部門：株式会社ウミゴー（静岡県西伊豆町）、大山乳業農業協同組合（鳥取県琴浦町）

コミュニティ・地産地消部門：海女振興協議会（三重県鳥羽市、志摩市）、彼杵おもしろ河川団（長崎県東彼杵町）

個人部門：深作勝己（茨城県鉾田市）

※詳細な情報等は農林水産省ホームページから参照願います。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/251118.html>

## ■ 鳥インフルエンザが発生

高病原性鳥インフルエンザが、令和 7 年シーズンにおいても全国各地ですでに 6 事例が確

認され、約 173 万羽が殺処分されています。例年 1 月がトップシーズンであり、12 月に入り野鳥などの飛来時期を迎えていることから、野鳥や野生動物によるウイルスの侵入防止をはじめ、飼養衛生管理基準の遵守など、発生に備えた対策の徹底をお願いいたします。

※詳細な情報等は以下のアドレスから参照願います。

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7\\_hpai\\_kokunai.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html)

■ 各種講演を精力的に実施

- ・ 10 月 26 日(日)、広島県庄原市で開催された農林業関係者との意見交換会で国政報告を行いました。
  - ・ 10 月 29 日(水)、石川県金沢市で開催された石川県土地改良区役員・職員研修会で最近の情勢について講演を行いました。
  - ・ 10 月 30 日(木)、奈良県奈良市で開催された奈良県土地改良区連絡協議会等研修で最近の情勢について講演を行いました。
  - ・ 11 月 2 日(日)、秋田県湯沢市で開催された秋田県土地改良事業推進大会で最近の情勢について講演を行いました。
  - ・ 11 月 7 日(金)、都内で開催された令和 7 年度第 2 回暁の会研修会で最近の農政（米問題の現状と今後の方向性）について講演を行いました。
  - ・ 11 月 10 日(月)、都内で開催された新潟県連女性局中央研修会で最近の情勢について講演を行いました。
  - ・ 11 月 11 日(火)、都内で開催された島根県農業農村整備事業意見交換会で最近の情勢について講演を行いました。
  - ・ 11 月 12 日(水)、都内で開催された秋田県仙北土地改良事業者協会勉強会で最近の情勢について講演を行いました。
  - ・ 11 月 15 日(土)、北海道札幌市で開催された北海道土地改良セミナーで最近の情勢について講演を行いました。
-